



# 栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



～学校教育目標～  
よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

令和8年度7月号  
令和8年6月30日

## ブラックリハラ

校長 古澤 健史

### 【6年生の修学旅行から】

6月11日(木)・12日(金)に、本校の6年生が日光に修学旅行に行きまして。前の週には台風による学校の臨時休業もあり、関東は梅雨入りをしていて、天候が心配されましたが、6年生の素晴らしくて、素早い行動もあり予定が前倒しで進んだため、雨の影響をほとんど受けることなくすべての行程を行うことができました。12日は、新座では豪雨もあったそうですが、無事に避けることができました。

修学旅行では、日光の自然や歴史だけでなく、仲間との助け合いや楽しい時間をたくさん過ごすことで、自分たちの力を更に高めることができました。これからの生活や学習に活かしてください。

### 【教員版まちたんけん】

6年生が修学旅行で歴史学習を行う前の6月2日(火)の放課後に、教職員による研修を行いました。内容は、新座市観光ボランティア協会がガイドをされていて、4年生の野火止用水の学習でもお世話になっている、高橋常雄さんを講師に迎え、学校の周辺を古い地図や資料を見ながら散策し、栗原小学校ができる前の栗原地区の様子を学びました。

栗原小は、市内では新しい学校のため、伝統校という意識が低いため、地域の歴史に対する関心が少し弱いように感じていました。しかし、地区の歴史は古く、たまたま地区内に学校ができるのが遅かっただけと思われまます。今回の散策でも小学校の北側の保育園の場所には、約3万年前の旧石器時代の遺跡が見つかったり、黒目川から用水路が引かれ、田んぼや水車が点在していたりした、かつての栗原地区の様子を学ぶことができました。

地域の昔を知る方の説明を聞きながら散策することで、普段何気なく通っていた遊歩道が、かつての用水路の上にてできていることを知りました。黒目川が治水対策で、

昭和40～50年頃に流れが直線的に変えられ、川底が掘られ、水面も低くなったことを学び、黒目川の昔の流れの名残が、道路や植栽、市有地の囲いなどから伺えることも知りました。

### 【開校50周年にむけて】

なぜ、このような研修を行うことになったのか。それは、栗原小学校が今年度49周年となり、来年度50周年を迎えるということがあります。

現在、PTAや地域の方たちと50周年にむけて実行委員会の組織づくりを進めながら、子どもたちと学校の50歳の誕生日をどのように祝うか、イベントの計画を考えています。今後、子どもたちにアンケートをとり、企画を考え、その実現のためにご協力をいただきたいと思っています。

一方でこの50周年の節目に、学校や地域の歴史を教職員や子どもたちもしっかりと学んで知り、それを未来へつないでいくことが必要なのではないかと思ったのです。

### 【校歌に歌われる地域の様子】

本校の校歌の歌詞の2番に「弁天池にわく泉」というフレーズがあります。現在、弁天池と呼ばれる池が、昇降口の近くにあり、水が湧くことはありません。教職員の中には、うすうす、昔学校の場所に「弁天池」と呼ばれる池があったことは知っていても、学校の敷地のどこにあったか、はっきりと答えられる者はいません。

私も気になって弁天池のことを調べましたが、驚くことに気づきました。これまでの周年行事の記念誌等を見ても、弁天池の写真が1枚も学校にはないのです。5周年の記念誌には、地域の方が回想して描かれた絵が3枚も掲載されているのに、写真は1枚もないのです。

**学校は、かつての「弁天池の写真」を探しています。お持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、学校にご一報ください。**